

2023 年度 第 1 回 日本カプセル内視鏡学会 代議員会 議事録

日時：2023 年 2 月 5 日（日）13:00～13:30（30 分）

会場：京王プラザホテル 日本カプセル内視鏡学会 第 1 会場（南館 5F エミネンス）および WEB 会議
ハイブリッド開催

＜はじめに＞

- 議長である田中理事長より代議員総数 100 名のうち、委任状・WEB・会場をあわせ 87 名の参加が確認され、本会議が成立することが報告された。
- 田中理事長より、議事録署名人に今枝理事、江崎理事が推薦され、承認された。
- 第 16 回日本カプセル内視鏡学会学術集会について、会長である加藤智弘理事より開催の報告があった。

＜審議事項＞

1. 財務委員会

1) 2022 年度（2021 年 12 月～2022 年 11 月）決算報告

加藤智弘理事より 2022 年度の決算報告が代議員会資料（3-5 ページ参照）に基づいて報告された。

支出の部

- e ラーニング事業費のシステム改修引当金繰入の 650 万円は、2024 年のシステム入替に関連する 1300 万円を区分けして計上。
- 臨床研究事業費、本年度は 33 万円。HomeCam-J study をスタートする際の審査料が計上。

資料③の第 15 回日本カプセル内視鏡学会学術集会収支決算書（代議員会資料 6 ページ参照）について、会長松本主之理事より報告された。

加藤元嗣監事より監査の結果、適正な会計処理が行われた旨の報告があり異議なく承認可決された。

2) 2023 年度（2022 年 12 月～2023 年 11 月）収支予算案

加藤智弘理事より 2023 年度の予算案について、代議員会資料（9-10 ページ参照）に基づいて説明があり、異議なく承認可決された。

支出の部

- e ラーニング事業費のシステム改修引当金繰入の 650 万円は、2024 年のシステム入替に関連する 1300 万円を区分けして計上。
- 臨床研究事業費、HomeCam-J study の 345 万円。今春スタート予定のカプセル内視鏡の在宅検査にかかる下剤やカプセル自体の代金等。

2. 理事の候補者推薦について

人事委員会の松本理事より理事の候補者推薦について説明があり、異議なく承認可決された。

理事候補 富樫一智先生（福島県立医科大学会津医療センター 小腸・大腸・肛門科）

3. 規約委員会

1) 定款及び定款細則の改訂について

今枝理事より定款及び定款細則の改訂について、代議員会資料(11-12 ページ参照)に基づいて説明があり、異議なく承認可決された。

修正内容

- ・全体的な書式や文言などの不備修正。
- ・名誉会員に関する記載修正。

(定款第 5 条 3) に下記名誉会員の記載を明記。

名誉会員 数え年 68 歳以上の正会員で、学術集会会長若しくは理事経験者又は本会に貢献をなし、学術研究に顕著な業績を残した者の中から、理事会が推薦し、代議員会の決議を経た者

(定款第 7 条 経費の支払義務) に名誉会員の会費について明記。

会員は、代議員会で定める額の会費を支払わなければならない。本条の会費のうち正会員が支払う会費は、法人法第 27 条に規定する経費とする。ただし、名誉会員は、会費を納めることを要しない。

(定款細則第 19 条 名誉会員) 下記取消し線の記載を削除。

名譽会員は、~~数え年 68 歳以上の正会員で、学術集会会長の経験者若しくは理事又は本会に貢献をなし、学術研究に顕著な業績を残した者の中から、理事会において選任した者とする。~~

~~2. 名譽会員は終身とし、定数は設けない。~~

- ・(定款第 5 条 8) 代議員の定年を設けた。

満 65 歳に達した代議員は、前項の任期途中であったとしても、満 65 歳に達した後の最初の定期代議員会終結の時をもってその資格を失うものとする。ただし、代議員が役員を兼ねているときは、役員在任中に限って、その資格を継続する。

- ・会員の懲戒に関する規定がないため、定款と定款細則の下記 2 箇所に新たに定めた。

① 定款

第 10 条 (懲戒)

会員が次に掲げる事由に該当するときは、定款施行細則の定めるところにより、理事長は当該会員に対し、懲戒処分として除名、会員資格停止、厳重注意等の処分をすることができる。

- (1) 当法人業務に關係する我が国の法律又は当法人の定款若しくは規則に違反したとき
- (2) 当法人の名誉を毀損し、又は当法人の目的に反する行為をしたとき

② 定款細則

第 5 章 会員の懲戒 (懲戒)

第 11 条

理事長が会員を会員資格停止、厳重注意等に処する場合は、理事会の決議を経なければならない。

2 前項の規定により会員に懲戒処分を科すときは、当該会員に予め通知するとともに懲戒処分の決議を行う前に、本人が希望すれば当該会員に弁明の機会を与えなければならない。

- ・定款細則にあった「代議員会の権限」を削除し、定款第12条に定めた。
- ・昨年改訂した＜役員選考規定＞は、定款細則の中に盛り込むのではなく個別に設けるべきため、定款細則から削除し個別に作成。
- ・今回の修正に合わせ、「代議員選出細則」の文言を統一すべく「代議員選出規則」に修正。

4. 第18回日本カプセル内視鏡学会学術集会(2025年2月開催)会長選出について
田中理事長より大宮直木理事が推薦され、異議なく承認可決された。

<報告事項>

1. 各委員会報告

1) 総務委員会（代議員会資料13-14ページ参照）

中村理事より、JACE会員状況について現状報告がされた。

会員数の減少傾向について、創立時に入会の先生方が定年退職ということもあるがやはり若手の会員数を増やしたいと思うので、理事、代議員の先生方にはぜひご協力を願いしたい。

2) 認定医制度委員会（代議員会資料15-16ページ参照）

江崎理事より、次の報告がされた。

① 2022年 認定資格報告

② 認定医制度規則、細則の改訂

修正内容

(添付資料「認定医制度規則（修正案）」「認定医制度細則（修正案）」参照)

- ・文言の整理修正

- ・認定医制度細則

第3条を下記に変更。

~~認定制度委員会委員の任期は2年とし、再任を妨げないが、継続4年を越えることはできない。~~

↓ に変更。（ほとんどの委員が4年を超えていたため）

~~認定医制度委員会委員の任期は2年とし、再任を妨げない。~~

- ・認定医制度細則

第7条 取消し線を削除。

申請書類は正本1通（事務局保管用）副本1通（認定制度委員会用）とする。

(添付資料「認定医制度規則の一部変更について」参照)

- ・認定医制度規則 指導施設の認定基準（第19条 4）を下記のように一文追記変更。

4. 指導医1名以上が勤務、認定医1名以上が常勤し、十分な教育体制がとられていること。

↓

4. 指導医1名以上が勤務、認定医1名以上が常勤し、十分な教育体制がとられていること。

指導医が常勤の場合は、認定医は非常勤でも可とする。

③ JACE/コヴィディエンジャパン共催 ハンズオンWEBセミナー開催報告

小腸カプセル内視鏡セミナー：2022年2月19日（土） 参加者数：90名
大腸カプセル内視鏡セミナー：2022年2月26日（土） 参加者数：62名

- 3) 認定技師制度委員会（代議員会資料17-18ページ参照）
塩谷理事より、次の報告がされた。

① 2022年 認定資格報告

② 認定技師制度規則、細則の改訂

修正内容

（添付資料「認定技師制度規則（修正案）」「認定技師制度細則（修正案）」参照）

- ・文言の整理修正
- ・認定技師制度細則

第3条を下記に変更。

認定技師制度委員会委員長及び委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、それぞれ通算6年を超えることができない。（2018年2月改訂施行で改めてスタート）

↓に変更。

認定技師制度委員会委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

（これまでと来年以降の継続状況を考慮すると、通算6年を超える委員が多数でてくるため。）

- ・認定技師制度細則

第7条 取消し線を削除。

申請書類は正本1通（事務局保管用）副本1通（認定技師制度委員会用）とする。

（実際の提出書類状況、認定作業、申請者の負担軽減のため。）

- 4) 読影トレーニング委員会（代議員会資料18ページ参照）

藤森理事より、eラーニング改訂作業の進捗状況について報告がされた。

- 5) アトラス作成委員会（代議員会資料18ページ参照）

山本理事より、アトラス（テキスト）更新の進捗状況について報告がされた。

- 6) 保険委員会（代議員会資料19ページ参照）

大宮理事より、令和6年度診療報酬改定について報告がされた。

- 7) ガイドライン作成委員会（代議員会資料19ページ参照）

大塚理事より、カプセル内視鏡診療ガイドライン作成について進捗状況が報告された。

- 8) 学術委員会（代議員会資料19-20ページ参照）

樋口理事より、臨床研究の現状報告がされた。

9) 情報委員会（代議員会資料 21 ページ参照）

緒方理事より、ニュースレター Vol. 18 (2022 年 11 月発行) について報告がされた。

2. 第 17 回日本カプセル内視鏡学会学術集会 (2024 年 2 月開催) について

塩谷理事（会長）より、準備状況が報告された。

3. GI Week の組織化について

田中理事長、樋口理事より GI Week の組織化について説明がされた。

以上

上記の議事の内容が正確であることを証するため、この議事録を作成し、議長および議事録署名人がこれに署名押印する。

2023 年 2 月 15 日

一般社団法人日本カプセル内視鏡学会 2023 年度 第 1 回代議員会

議 長 田中 信治 (印)

議事録署名人 今枝 博之 (印)

同 江崎 幹宏 (印)